

# 天草アーカイブズ(文書館)の

## 普及活動について答申

### 天草アーカイブズ運営審議会

天草アーカイブズ運営審議会(会長 安藤正人・国文学研究資料館教授)から、安田市長が諮問していた天草アーカイブズ(文書館)の普及活動について、3月25日に答申がありました。

同審議会は、市民の代表や識見を持つ人など14人の委員で構成され、昨年6月に市長



▲安藤会長(=写真左)から安田市長に答申書が手渡されました

から諮問を受けて協議をスタート。今年3月まで計6回の審議を重ねました。

今回、提出された答申の中で、市民の皆さんに関わりのある事項などについてお知らせします。

### 市民による

### 地域文化の創造

地域文化の担い手を

育てる普及活動

#### 【教育・研修活動】

- 講演会や講習会の実施：天草アーカイブズの所蔵資料や、職員の専門知識を活用した市民向けの講演会や講習会を計画・実施すべき。
- 学校教育との連携：小・中学校、高等学校の児童・生徒や大学生に向けて、教材の提供や天草アーカイブズの見学、天草アーカイブズ

による出張授業や体験学習、卒論研究や学芸員実習、大学出張講義などについて対応すべき。

#### 【広報活動】

- 報道機関との連携：天草アーカイブズの活動を、テレビ局や新聞社に報道してもらうよう協力を要請する。

#### 【イベント活動】

- 展示活動：市内の公共施設(館)の展示コーナーで、常設展示や特別展示を行う。さらに、市役所本庁や各支所に「アーカイブズ・コーナー」を設けるほか、地域や学校の文化祭で出張展示を行うべき。
- 集いや会議の開催：市民がアーカイブズに親しむきっかけとなるようなシンポジ

ウムや映画祭、ビデオ上映会、コンサートなどを企画すべき。また、「世界アーカイブズの日」(6月9日)にイベントを企画すべき。

#### 【その他の活動】

- 協力者を育てる活動：天草アーカイブズの資料を多くの市民に利用してもらうため、協力者を育てることが大切。「天草アーカイブズ友の会」の設立がその一つである。また、「調査協力員」制度を立ち上げ、一般市民が地域史料調査などの業務活動に参加し、より直接的な支援を行えるようにする。

- その他：普及活動については、市民から広くアイデアを募集することが重要。また、天草アーカイブズの施設の一部を子どもたちや市民の団体に貸し出し、それらの団体の発行物や記録物が将来的に天草アーカイブズに寄贈・寄託されるような方法を考えるべき。さらに、天草アーカイブズに「アーカイブズ・ボックス」(記憶の箱)を設置して、市民が未来に残したい個人や家の記録を保存してもらう。

### より開かれた

### 市政の運営

市民の市政参加を

進める普及活動

#### 【教育・研修活動】

小・中学校、高等学校の児童・生徒に、行政のしくみや市役所の仕事内容を学んでもらうことが大切。一般市民に対しては、公文書を通じて過去の行政を検証し、その成果を今後のまちづくりや市政参加に生かしていく公文書利用の方法と効用を、具体的に示していく必要がある。

市では、答申の内容を十分に尊重し、アーカイブズの普及活動に努めていきます。なお、答申の全文については、天草アーカイブズ(五和支所内)のほか、市のホームページでもご覧いただけます。

※詳しいことは、天草アーカイブズ ☎551515へお尋ねください。